

## 第40回 日本整形外科学会基礎学術集会 講演一覧

### 会長講演

タイトル	講師	抄録	会場	日時
Orthopaedic surgeon scientistとして	石橋恭之	S1537	1	16日 13:50-14:20

### 文化講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 25-0832
1	やれる理由こそが着想を生む —「はやぶさ」,「はやぶさ2」を完遂させた力—	川口淳一郎	S1538	1	16日 16:10-17:10	N	14-5	024

### 基調講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 25-0832
1	生命の要,キネシンスーパーファミリー—モーター分子群と細胞内輸送— —神経機能の制御, その障害と関連疾患まで—	廣川信隆	S1537	1	16日 14:30-16:00	N	14-5	020

### 特別講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 25-0832
1	Muse細胞治療の世界展開戦略—HLA適合や免疫抑制剤を必要としないドナーMuse細胞の点滴治療—	出澤真理	S1744	1	17日 11:20-12:20	N,SS	1,7	040
2	生命を模倣する —幹細胞由来ミニ臓器が拓く次世代医学研究—	阿久津英憲			17日 13:40-14:40	N	14-5	049

### 特別企画

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 25-0832
1	大学病院の生き残り	星長清隆	S1596	5	16日 11:20-12:20	N	14-3	010

### 海外招待講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 25-0832
1	Meniscus and early knee osteoarthritis	Martin Englund	S1547	2	16日 14:20-15:20	N,S	2,12	018
2	Spinal pathoanatomy and clinical epidemiology	Hiroko Matsumoto	S1596	5		10:10-11:10	N	3,7
3	Unleashing the therapeutic potential of cell transplantation for spinal cord repair	Martin Oudega	S1743	1	17日 10:10-11:10	N,SS	1,7	035
4	Updates in the regenerative medicine for osteoarthritis treatment	Gun-Il Im	S1823	5		N,S	1,12	036
5	Multi-dimensional analysis of the human knee as an organ to discover mechanisms of tissue damage and pain in osteoarthritis	Martin Lotz	S1823			N,S	1,12	039

教育研修講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 25-0832	他学会 単位		
1	肩診療のバージョンアップのための基礎研究	山本宣幸	S1550	3	16日	8:30-9:30	N,Re	1,9	004	リハ学会	
2	がんゲノム医療と骨・軟部腫瘍	川井 章	S1618	7		11:10-12:10	N,Re	1,5	009		
3	海外留学のすすめ —COVID-19パンデミックと世界情勢の変化がもたらした新しい「海外留学」の形—	折田純久	S1633	8		16日	14:20-15:20	N	14-5	021	
	海外留学のすすめ —基礎研究留学体験談—	小川寛恭									
4	医療安全文化の醸成と整形外科医の役割	内山勝文	S1634	8	15:30-16:30		N	14-5	022		
5	Orthopaedics and traumatology in a changing world	Dietmar Pennig	S1748	2	17日		8:30-9:30	N	8,10	030	
	重度上肢外傷に対するマイクロサージャリーによる再建	砂川 融									
6	萎縮性偽関節の基礎と外科的治療 —骨折治療における生物活性とは?—	渡部欣忍	S1749	2		9:40-10:40	N	1,2	034	手外科 学会 (予定)	
7	整形外科医のための実践医療統計 —エビデンスに基づく診療と論文作成のために—	岡 敬之	S1753	2		13:40-14:40	N	1	053		
8	間葉系幹細胞を用いた関節内治療の過去・現在・未来	関矢一郎	S1824	5	13:40-14:40	N,S	1,12	054			
9	5年後も同じ手術でいいですか? —少しの努力で未来は大きく変えられる—	乾 洋	S1836	6	17日	10:10-11:10	-	-	-	リハ学会	
	人工関節研究の活性化にむけて —指導者の立場からの提言—	加畑多文									
10	抗菌薬適正使用におけるトピックス —整形外科領域を中心に—	川村英樹	S1837	6		11:20-12:20	N	14-2	041		
11	Academic surgeonを目指して苦勞してきたこと —脊椎脊髄外科医の理想と本音—	中島宏彰	S1838-9	6		17日	13:40-14:40	N,SS	1,7	051	
	脊椎脊髄外科研究のすすめ —優れた研究のコツと要点—	菅野晴夫									
12	脊椎診療におけるAIの実装	藤森孝人	S1839	6	14:50-15:50		N,SS	1,7	056		

GJSOT International symposium

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 25-0832	
1	New technology in joint surgery 1	Dietmar Pennig, 尾崎敏文	S1871-3	8	17日	13:40-14:40	N,Re	2,5	050
2	New technology in joint surgery 2	Wolfram Mittelmeier, 平岡弘二	S1874-6			14:50-15:50	N	1,11	058
3	New technology in spine surgery	Michael Rauschmann, 山崎正志	S1877-9			16:00-17:00	N,SS	7	062

共同シンポジウム

No.	タイトル	産長	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 25-0832	
1	Advances in patellofemoral joint treatment	James P. Stannard, 木村由佳	S1542-5	2	16日	10:10-12:10	N,S	2,12	007
2	変形性膝関節症を考える	内尾祐司, 古賀英之	S1548-50	2		15:30-17:00	N,S	2,12	023
3	バイオマテリアル研究の実用化へ向けて	松田秀一, 京本政之	S1601-3	6		10:40-12:10	N	1	008
4	整形外科基礎研究とリハビリテーション医学のマリアージュ	宮本健史, 緒方 徹	S1619-21	7		14:20-15:50	N,Re	13	019
5	脊椎・脊髄再生医療の最先端	渡辺雅彦, 國府田正雄	S1741-3	1	17日	8:30-10:00	N,SS	1,7	029
6	非定型骨折の科学 —疫学・発症メカニズムの解析—	野田知之, 澤口 毅	S1750-2	2		10:50-12:20	N	2,4	038
7	これからの整形外科研究における骨組織形態計測学の実際と意義 —動物実験から臨床試験まで—	酒井昭典, 高畑雅彦	S1754-5	2		14:50-16:20	N	1,4	059
8	小児整形外科股関節領域におけるAI利用と最新研究	稲葉 裕, 瀬川裕子	S1840-2	6		16:00-17:30	N	3,11	061
9	骨・軟部腫瘍の遺伝子検査による診療の発展	米本 司, 小林 寛	S1846-8	7	10:40-12:10	N	5	037	
10	有限要素解析法で語る外傷治療	渡部欣忍, 塩田直史	S1850-2		13:40-15:10	N	1,2	052	
11	腱板修復促進に関する基礎的研究	谷口 昇, 西中直也	S1853-5		15:30-17:00	N,S	1,9	060	

シンポジウム

No.	タイトル	産長	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 25-0832	
1	ACL再建術後成績向上に向けた基礎研究の最前線	中田 研, 松下雄彦	S1539-41	2	16日	8:30-10:00	N,S	1,12	001
2	脊柱側弯症の病態解明から早期発見への道しるべ	高橋 淳, 出村 論	S1593-5	5		8:30-10:00	N,SS	1,7	002
3	人工関節デザイン・バイオマテリアルの最前線	尾崎 誠, おおえ賢一	S1598-600	6		9:00-10:30	N,R	1,11	005
4	脊柱靭帯骨化症研究の最前線	川口善治, 吉井俊貴	S1607-9	6		16:00-17:30	N,SS	1,7	025
5	手外科領域における末梢神経の再生医療	市原理司, 田中啓之	S1622-4	8	8:30-10:00	N,SS	8,10	003	
6	ここまでわかるOmics解析 —現状と課題—	妻木範行, 石川正和	S1745-7	1	17日	14:50-16:20	N	1	055
7	骨関節組織再生トランスレーショナルリサーチの最前線	中島康晴, 高橋謙治	S1820-2	5		8:30-10:00	N,S	11,12	031
8	整形外科疾患におけるAIの活用 —診断・治療の新時代—	茂呂 徹, 藤田浩二	S1825-8	5		14:50-16:20	N	1	057
9	関節手術におけるロボット・ナビゲーション技術の最前線	岡崎 賢, 高尾正樹	S1833-5	6		8:30-10:00	N,R	11,12	032
10	骨・軟部腫瘍における画像技術の進歩と臨床応用	川島寛之, 松峯昭彦	S1843-5	7	9:00-10:30	N	1,5	033	

ランチョンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 取得	必須 分野	認定番号 25-0832				
1	基礎研究から見えてきた大腿四頭筋腱を用いたACL再建術の適応と課題	中瀬順介	S1546	2	16日 12:30-13:30	N,S	2,12	011				
	ACL reconstruction using QT graft: Clinical experience and literature review	John Xerogeanes	S1546									
2	膝関節新規治療開発からヘルスプロモーション「活き活き健康」へ: 外科治療・再生医療・プログラム医療機器とデジタルツイン活用	中田 研	S1561	3					N,S	1,12	012	
3	感染性脊椎炎診断の新戦略: 変化する起炎菌	谷島伸二	S1584	4					N,SS	7	013	
4	今こそ見直す医療安全 —医療従事者が実践すべき被曝低減の新潮流—	山下一太	S1597	5					-	-	-	
5	疼痛機序から考える変形性膝関節症の治療戦略	阿漕孝治	S1603	6					N,Re	1,12	015	
6	肩関節周囲炎の治療戦略とScaffold技術による腱板修復の可能性 —基礎から臨床へ—	八田卓久	S1618	7					N,Re	1,9	016	
7	Pre-clinical, clinical & registry data of a zirconium nitride multilayer ceramic coating on an advanced mobile bearing posterior stabilised design for total knee arthroplasty	Wolfram Mittelmeier	S1632	8					N	12	017	
8	腰部脊柱管狭窄症の“痛み”へのアプローチ —MiroTAS試験と事後解析が示すミロガバリンの臨床的位置づけ—	二階堂琢也	S1752	2					N,SS	4,7	042	
9	本来の膝関節の動きを目指して —ピボットパターンがTKAデザインと臨床成績に及ぼす影響—	上村雅之	S1774	3					N,Re	1,12	043	
10	半月板損傷の診療 —基礎医学研究から臨床まで—	古松毅之	S1804	4					N,S	1,12	044	
11	CT-based Robotic Systemによる下肢人工関節置換術の意義と可能性	水島正樹	S1824	5					17日 12:30-13:30	N	11,12	045
12	ソフトマテリアル研究に基づく新規軟骨修復・再生治療法の開発	岩崎倫政	S1838	6					N,S	1	046	
13	ウェアラブルデバイスによる人工股関節置換術後の機能回復モニタリング: 新たな可能性を拓く	濱井 敏	S1849	7					N,Re	11,13	047	
14	生体軟骨の潤滑機構に着想を得た生体親和性PMPC処理人工股関節の実用化と15年成績	茂呂 徹	S1870	8	N	1,11	048					

アフタヌーンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位取得	必須分野	認定番号 25-0832	他学会 単位
1	最近の話題とともに考えるPTH1受容体作動薬による骨粗鬆症治療	宮腰尚久	S1569	3	16日	16:30-17:30	N,SS	1,4	026	骨粗鬆症 学会 (予定)
2	睡眠・覚醒状態遷移を司る神経ダイナミクスとオレキシンの機能的役割	櫻井 武	S1592	4			N	14-5	027	
3	The evolution of the shoulder prosthesis from aTSA to RSA	Alessandro Castagna	S1621	7			N,Re	9,13	028	

日展会認定教育研修 受講取得単位 (認定単位種別)

N:日展会専門医単位 S:スポーツ単位 R:リウマチ医単位  
SS:脊椎脊髄病医単位 Re:運動器リハビリテーション医単位

日展会認定教育研修 受講必須分野 (専門医必須14分野)

- 1 整形外科基礎科学
- 2 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
- 3 小児整形外科疾患(先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)
- 4 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
- 5 骨・軟部腫瘍
- 6 リウマチ性疾患, 感染症
- 7 脊椎・脊髄疾患
- 8 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)
- 9 肩甲帯・肩・肘関節疾患
- 10 手関節・手疾患(外傷を含む)
- 11 骨盤・股関節疾患
- 12 膝・足関節・足疾患
- 13 リハビリテーション(理学療法, 義肢装具を含む)
- 14-1 医療安全
- 14-2 感染対策
- 14-3 医療倫理
- 14-4 その他の共通講習
- 14-5 1~13に当てはまらない領域講習

14-1~4は機構認定専門医共通講習。

14-1~3は機構認定専門医必修講習で, 5年間で各1回以上受講しなければならない。